

Close up だて



穏やかな人柄が溢れる渡部事務局長(左)と佐藤会長(右)

一年齢も天候も関係なし 夫婦でも仲良く楽しめますー 伊達フロアカーリング協会



ゆったりと楽しそうな様子。笑いが絶えない仲間の皆さん



キャスターが「3つ」なので思わぬ場所へついてしまう

平 成5年に新得町で生まれた「フロアカーリング」は、天候に左右されず子どもから高齢者まで手軽に楽しめます。最初に滑らせる緑色の的に赤色が黄色のフロッカーと呼ばれるキャスター付きの球を近づけた方が得点でき、4セットで戦いを決めます。

昨年、このスポーツを楽しむ「伊達市フロアカーリング協会」が設立されました。

そのきっかけは平成22年秋。「ネイパル洞爺の指導員に1チーム足りない、参加してと声をかけられた。以前からパークゴルフをしていたけれど冬はできない。じゃあと始めたらこれが奥が深くて」とお話してくださったのが同協会の佐藤英輔会長です。

仲間内で楽しむうち、人数が増えて今に至ること。会員数が

伸び悩む団体が多い中、珍しい例ですが「来たいときに来て楽しんでもらう」という緩やかな方針が参加しやすいさのひとつなのかもしれません。

みんなが夢中になる奥深さやうかがうと「相手の玉の位置によっては、ターゲットを自分たちに有利な場所へ動かすことができる。的が自由に動くところが面白い」と熱心に語る渡部政昭事務局長。

「ナイター教室を開き、もう少し若い人に広げたり、小学校で出前講座をしたい。色々な世代での対戦や、大会もしてみたい」とたくさんの人に楽しんでもらいたい気持ち強く伝わってきました。

興味のある方は、佐藤会長(☎2315374)か渡部事務局長(☎2514444)へお問い合わせください。

表紙のはなし



12月6日、黄金小学校で恒例の「もちつき集会」が行われました。早く食べたい気持ちを抑えながら、自分たちでついたお餅にあんこを包みます。

年上の児童が低学年に優しく教えながらの作業は和気あいあいと進み、最後は体育館中に美味しく満足した児童の笑顔が溢れていました。

楽画記

■待ちに待った冬到来!日々の疲れを癒す、そして自分をいったんリセットするにはスキー板の手入れが最適...滑走面のキス補修、ベース(滑走面)とサイド(側面)のエッジ調整にワックスがけでざっと数時間。妻や娘と隔離された場所で自分の世界へ...そしてゲレンデへ...そこにはまた強烈な疲れ。やめれば良いのに!!(し)

■この季節に恋しくなる「こたつ」。が、我家のこたつは電気が入りません。一昨年にコードが壊れてからは、こたつ布団をかけただけの代物に。意外にもほんのり暖かいのが丁度良く、みかんを置くと外見は完璧!今月号では節電を呼びかけたことだし、買い替えは先延ばしで今年も「エアこたつ」で過ごそうかな。(や)

■寒くなりました。元々スキーが大好きだった夫は息子とスキーができるようになるのを首を長くして待っていました。4歳になった息子はスキーウェアとブーツに強い興味を示し、ゲームソフトのジャンプ競技と回転競技にはしゃぎます。冬は家でまったりという私の欲望は叶わず、寒〜いスキー場にいることになりそう。(と)